

令和7年度 第1回宇部市史編さん委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和7年5月22日（木）14:00～15:00

宇部市役所5階 第2委員会室

2 出席者

委員

脇和也（委員長）、山田稔（副委員長）、岩元修一、三浦房紀、安井敬子

市

古林学（総合政策部長）、馬場葉子（市史編さん室長）、

植野麗子（市史編さん室併任、学びの森くすのき館長）、石川健（同併任、学びの森くすのき）、北野瑞貴（同併任、学びの森くすのき）、竹原よしえ（市史編さん室）

3 議事

（1）市史編さん基本方針（案）の見直しについて

（2）刊行書籍の作成方針（案）について

（3）市史執筆要領（案）について

（4）その他

4 別添資料

資料1 宇部市史編さん基本方針（案）

資料2 宇部市史編さん事業 工程表（見直し案）

資料3 市史執筆要領（案）

5 会議要旨

開会 委員長挨拶 事務局紹介	
議事 （1）市史編さん基本方針（案）の見直しについて	
事務局 ・委員	○事業期間について 執筆作業の監修・編集期間を十分とる必要があり、事業期間を3年延長し、13年間としたい。また、令和16年までの工程を修正。 ・予算措置はしっかりお願いしたい。 ・延びた期限はデッドエンド。部会員にも充実させてやっていくよう伝えたい。 →承認。
事務局 ・委員	○旧楠町史編について 通史編と資料編に分けて編さんし、宇部市分と合わせて4編とする。

	・わかりやすく良いと思う。 →承認。
事務局 ・委員	○監修者について 作成作業の全体調整・編集作業を行う監修者を置く。 ・市史全体の内容、構成について専門的立場から見るのが監修者。原稿の編集やデザインなどを見るのが編集・校正者。 ・全体をまとめ、部会同士の主張を調整する者が必要。 ・広い意味での「監修者」を置く。 ・ふさわしい監修者を探すことは、かなり難しいかもしれない。 ・デザインなども、時代に合った「わかりやすい」形にこだわっていただきたい。 →監修者は「全体の調整」という形で、適任者を探していく。
(2) 刊行書籍の作成方針(案)について	
事務局 ・委員	○通史編は、書籍で、カラー、2段組み、A4版程度のものを。資料編は、デジタルコンテンツを考えている。可能な限り平易な文章で、写真や図版を活用し、ビジュアル的な要素を重視。市民にわかりやすく親しみやすい市史とする。 作成方針の詳細や、資料編のデジタル化、公開方法などについて、ご意見いただきたい。 ・時代の変化、技術の変化によっては、方法を見直す可能性も出てくる。 ・編さん後を見越して、資料のデジタル化、公開、移管等の了解を取っておく必要がある。所有者の代が変わってしまう可能性が高い。 →作成方針等については、ご意見を踏まえ、次回示したい。
(3) 市史執筆要領(案)について	
事務局 ・委員	○昨年度示した執筆要領(案)を各部会で確認いただき、微調整した。確定させていきたい。 校正要領は、資料の時代によって、取り扱いや記載のルールが違ってくるため、今後、部会ごとに決めて行くことになる。 ・AIの使い方も、今後議論していく必要があるだろう。 →執筆要領(案)については、気づき等があれば、事務局へ連絡していただく。
(4) その他	
委員	・最近は横書きのものが多いが、「日本語は縦書き」という思いを貫きたい。

	・参考としたい資料（「下松市平成の記録」）のイメージを皆で共有していくことも必要。
事務局	（事務報告） ・今後の各部会の調査等について。 ・歴史講演会の開催について ・第２回委員会について（秋頃開催を予定） →了承。 第１回宇部市史編さん委員会を閉会。